

放射線検査の説明

一般撮影・マンモ・骨密度

* 一般撮影（レントゲン検査）は、X線を目的の部位に照射し、透過したX線を検出器で可視化することで、内部の様子を知る検査です。

* マンモグラフィー検査は乳房を圧迫し、しこりや石灰化などを映し出します。

* 骨密度検査は二種類の放射線を用いて骨の強さを測ります。



透視検査

* リアルタイムで体内を観察できる検査です。

バリウムなど、X線が通りにくい造影剤という薬剤を用いて臓器の形態や血管の走行なども観察することができます。



MRI

* MRI検査は磁石を用いた検査であり、被ばくはありません。

検査時間が約30分～1時間と長く、検査中は工事現場のような、うるさい音がします。

* **体内にペースメーカーがある方は検査はできません。**

* **体内に金属がある場合は、MRI検査が可能かどうかの確認が必要になります。**

* MRI用造影剤を用いて、より詳しく検査することもできます。

CT

* X線を用いて体を様々な断面で見ることができます。

* 造影剤を使用することで血管内部の状態や臓器の血流状態など、より多くの情報が取得できる造影CT検査があります。



気になることがあれば放射線科スタッフにお気軽にお申し出ください。